

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 30 日 (2020.4.30)

【公開番号】特開 2020-39758 (P2020-39758A)

【公開日】令和 2 年 3 月 19 日 (2020.3.19)

【年通号数】公開・登録公報 2020-011

【出願番号】特願 2018-171107 (P2018-171107)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 7 日 (2020.2.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態となることを示唆可能な予告演出を実行する予告演出手段と、
前記有利状態が終了してからの可変表示の実行回数を特定可能な第 1 回数表示を表示する第 1 回数表示手段と、

可変表示が終了してから次の可変表示の開始までの期間が所定期間以内となった可変表示の連続実行回数を特定可能な第 2 回数表示を表示する第 2 回数表示手段と、

前記予告演出手段により前記予告演出が実行される前に、前記予告演出が実行されることを示唆する予告演出示唆手段と、を備え、

前記予告演出手段は、

前記予告演出として、前記第 1 回数表示を特定表示態様とする第 1 予告演出と、前記第 2 回数表示を特別表示態様とする第 2 予告演出とを実行可能であり、

前記第 1 予告演出と前記第 2 予告演出とについて、前記第 1 回数表示の回数と前記第 2 回数表示の回数との関係に基づいて、いずれか一方を優先して実行可能である、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

(1) 可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態 (大当り遊技状態等) に制御可能な遊技機 (パチンコ遊技機 1 等) であって、

前記有利状態となることを示唆可能な予告演出 (図 9 - 2 (C) の予告演出等) を実行する予告演出手段 (演出制御用 C P U 1 2 0 等) と、

前記有利状態が終了してからの可変表示の実行回数 (変動回数等) を特定可能な第 1 回数表示を表示する第 1 回数表示手段 (図 9 - 2 の変動回数表示部 1 1 4 F 0 0 1 等) と、

可変表示が終了してから次の可変表示の開始までの期間 (図 9 - 1 の間隔期間等) が所

定期間（４５０ｍｓ等）以内となった可変表示の連続実行回数（連続回数等）を特定可能な第２回数表示を表示する第２回数表示手段（図９－２の連続回数表示部１１４Ｆ００２等）と、

前記予告演出手段により前記予告演出が実行される前に、前記予告演出が実行されることを示唆する予告演出示唆手段と、を備え、

前記予告演出手段は、

前記予告演出として、前記第１回数表示を特定表示態様（赤発光、エフェクト有）とする第１予告演出（図９－７の１１４ＦＳ０２３の演出パターン設定による変動回数表示での予告演出等）と、前記第２回数表示を特別表示態様（赤発光、エフェクト有）とする第２予告演出（図９－７の１１４ＦＳ０２４の演出パターン設定による連続回数表示での予告演出等）とを実行可能であり、

前記第１予告演出と前記第２予告演出とについて、前記第１回数表示の回数（図９－４の変動回数表示）と前記第２回数表示の回数（図９－４の連続回数表示）との関係に基づいて、いずれか一方を優先して実行可能である（図９－５の優先度テーブルＡ～Ｃ、図９－７の１１４ＦＳ０２８，１１４ＦＳ０２９等）。